

イスラエルのクシュナーが、今、トランプ政府を NWO グローバリストのために操っている

シオニスト・ネオコン陰謀団は、クシュナーのゆすり戦略を使って、トランプをコントロールしているのか？

【訳者注】SOTN が一つ前の記事をさらに深く追及している。新しい調査結果に基づいて、恐ろしい闇の世界の勢力関係を解き明かしながら、アメリカという国家構造の中でこの事件を説明しているので、トランプの 180 度の方向転換が、なぜ行われねばならなかったのかが納得できるのではないだろうか？ 単にトランプを責めたり嘲笑したりしても始まらないことが、よく分かる。

鍵となるのは、引用されている「通過儀礼」という言葉ではないだろうか？ これは実に巧妙な比喻であり、かつ現実でもある。「ゆすり」(blackmail) という嫌な言葉も、「ピザゲイト」の場合と同じくキーワードである。悪の世界では悪人の資格を取らなければ、一人前ではなく、ましてリーダーにはなれないという、悲しくも恐ろしい現実がある。アメリカという国の奥（「深層国家」と呼ばれる）の事情を覗こうとする者は、良心や常識の全く通用しない、犯罪的世界に向き合っているということを承知していなければならない。

SOTN (State of the Nation)

April 17, 2017



「ペドゲイト犯罪は、地上のどんな政治家でも、彼らがすねに傷をもっていれば、ゆすった

り賄賂を使ったりするのに使うことができる。たとえそんな傷はもたなくても、政治家は、犯罪者どものでっちあげる証拠によってコントロールされる。——CIA やモサドは常にこれをやっている。」 ——ベテラン情報機関アナリスト

次の（下にリンクされた）調査報告は、ジャレド・クシュナーの父、チャールズ・クシュナーについての、きわめて懸念される、汚い犯罪の歴史を明らかにしている。それは、彼の政治的な力と財政的影響力が、過去において、政府高官たちを支配したやり方を暴露している。そのことから、トランプのホワイトハウスも、今、同じ戦術に引っかかっているのかわかるが、問われなければならない。

「ジャレド・クシュナー：トランプのホワイトハウス内部のギャング容疑者」（調査報告）
<http://stateofthenation2012.com/?p=71416>

上の報告はどこまでも放射能力をもっている。この詳細な暴露資料は、戦争計画が引き返せぬ地点に進展する前に、世界中に拡散されなければならない。“オルタナ右翼”といわれる多くの人々は特に、この重要な現実調査から利するとともに、急速に増加するトランプの戦争犯罪（イエメン、モスル、シリア、アフガニスタンなど）について、深く知るようになるだろう。

アメリカ人民が、大統領執務室で四六時中働いている、さまざまなコントロール機構の真の深さと幅を理解するようにならなければ、アメリカ政府の犯罪騒ぎはいつまでも続くだろう。トランプ大統領の4月6日のミサイル攻撃による、シリアに対して犯された厚顔な戦争犯罪は、次の新しい4年間の犯罪騒ぎの始まりに過ぎない。このようなあからさまな戦争犯罪は、文字通り、第三次世界大戦の引き金を引くことになりかねない。深層国家は必死に戦争を進めてきたのは、彼らを崩壊から救っている永遠の戦争経済がなければ、失業してしまうからである。

「なぜトランプは、現実にはシリアに弾道弾を飛ばして、戦争犯罪を犯したのか？」
<http://stateofthenation2012.com/?p=70798>

ドナルド・トランプに何が起こったのか？

大統領の国民への、イースター週間の次の演説ビデオは、選挙運動中に誰もが見たあの候補者とは、根本的に違った人間を見せている。懸念されるのは、彼の演説の内容ではない——もっとも人は、この演説がアメリカ合衆国でなく、現代イスラエル国のためのものと思うだろう。心配なのは、彼の、これまでに見たことのない、全く独特の、自分の存在を押しつけ

るやり方である。

「ヒュー！ いったいドナルド・トランプに何が起こったのだ？」(ビデオ)

<http://stateofthenation2012.com/?p=71413>

肝心の問題は、だから、誰が米大統領をコントロールしているのか？ ということである。

この問題には、実はさまざまな答えがあり、それぞれが現在のホワイトハウスの直面している難局に関連している。乗っ取り戦略の一般的なメカニズムについては、下の記事が、「誰」と「どうやって」について簡潔な答えを与えてくれる。

「トランプのホワイトハウス内部の“クシュナー・クーデタ”」

<http://stateofthenation2012.com/?p=71059>

イスラエルにゆずられている？

通常、米大統領が、特に、第一回目就任の初期に、なぜ戦争犯罪を行うのかには、一つの理由がある。彼らは何らかの目的でイスラエルにゆずられているのである。トランプ大統領の場合でも、何ら事情は変わらない。

「もちろん、すべての新しい米大統領のための**通過儀礼**は、ならず者国家イスラエルのために行う、あからさまで間違えようのない戦争犯罪という仕事である。したがって、犯罪的なシリア爆撃をもって、この新しい米大統領は、**地位確保のためのバル・ミツバ** [ユダヤ教の成人式] を済ませたものと思われる。」

(ソース：「トランプはイスラエルのためにシリアを爆撃した」)

<http://stateofthenation2012.com/?p=71151>

今、明らかになったことは、ジャレド・クシュナーが、ある外国の人間のために、米大統領にネガティブな影響を与えようと行動している、ということである。なぜそんなことが言えるか？ なぜなら、公表された報告によると、明らかに虚偽の非難を根拠にして、シリアという主権国家をミサイル攻撃するように彼女の父親を説得したのは、彼の妻イヴァンカであり、もしイヴァンカが、それほど彼女の父に大きな影響を与えたとすれば、明らかに夫のジャレドが彼女を説得したからである。このような危険な、挑発によらない軍事攻撃というような考えが、最愛の娘であるイヴァンカから発することはありえない。

イスラエルだけが、そのような向こう見ずなアメリカの戦争犯罪から利益を得られる立場

にある。なぜなら、それは彼らの極端に誤った“拡大イスラエル”計画の推進に寄与するからである。ISIS できえ、このミサイル攻撃によってより大胆になった。それは、ホムズ地域を、暴徒の侵攻とテロリストの脅威から守るのに使われていた、シャイラト空軍基地を破壊したからである。トランプ大統領が、イスラエルのために、このような由々しい、無思慮な行動によって、政治的基礎全体を放棄するようなことをしたのは、その決断の過程に、ジャレドが直接かかわっていたことを示している。

ジャレドが、トランプのホワイトハウスで、絶大な権力を与えられていることは、彼が選挙後の移行期間中も、選挙運動中にも、大きな仕事を一任されていたことを考えると、疑問の余地はない。彼のウィキペディア記述さえ、トランプから与えられた異常に多くのタイトルや役割を載せていて、それは今も増えている。

「ジャレド・クシュナーのウィキペディア・ページ——“政治活動”セクション」

<http://stateofthenation2012.com/?p=71481>

この急速に展開する状況は、その根底にある陰謀を匂わせる。情報サークルの人々にとって、さまざまな 4 月の出来事は、モサドに司令されたブラック作戦の、あらゆる特徴を反映している。数多くの深層国家のエージェントもまた、完全にトランプをコントロールするために、イスラエルの活動家と協調して動いている。もしこの陰謀が、見える通りに組織されているとするなら、鍵となる中心人物はジャレド・クシュナーであり、彼はトランプ自身の家族内部に、このような無血クーデタを率いるという予想のもとに、数年前に、戦略的に配置されていた。何と驚くべき先見の明であることか！



ネポティズム（血縁優先主義）

ジャレド・クシュナーとその妻イヴァンカ・トランプが、共に、ホワイトハウス内で権力を肥大させるにつれて、懸念をもつ人たちが、彼らに注目するようになるのは当然である。このような露骨なネポティズムは、王族のメンバーが、最も権力ある地位すべてを占める、昔の君主制に似ている。これがまさしく、ジョージ・ワシントンが、彼の同僚の“建国の父たち”から“13 植民地”を導くように選ばれた後、アメリカの王という話題を、すべて直ちにやめさせた理由である。

ところが、ジャレド・クシュナーの場合には、熱烈な民主党員だった者たちが、トランプ政府の最も重要な地位のすべてを占めている。そして彼はこの過程で、シオニスト・イスラエルを代表して行動しているように見える。そういうわけで、再び野蛮人が門（ゲイト）の中へ入ってきた——つまり、“ホワイトハウス・ゲイト”ということになる。

野蛮人が門の中に入っているかどうかを疑う人には、どうか次の、イスラエルのアパルトヘイト状態を正確に描いている図表をご覧ください。（「10 の図表によるイスラエルのアパルトヘイト状態」 <http://themillenniumreport.com/2017/02/israels-apartheid-state-in-10-graphics/>）これらの図表のそれぞれは、アメリカ合衆国が今どこへ行こうとしているかを、正確に予兆する——反逆罪的陰謀が暴露され、反逆者たちが直ちに、逮捕されない限り。

この同じ、隠れたシオニスト・ネオコンの指導層が、何十年もアメリカの運命のかじ取りをしてきたことを考えるなら、**アメリカ人民が、すみやかにイスラエルの束縛の軛を投げ捨てる**ことが、**絶対命令**となる。そうしなければ、それは究極的に、アメリカ市民の負債奴隷制に終わるだけでなく、アメリカ共和国の最終的な崩壊を早めるであろう。パレスチナを見ればよい。また残りの中東を見ればよい。それから、ヨーロッパ連合（EU）、特に南側の諸国家、それにフランス、ドイツ、スウェーデンをよく観察すべきである。

ジャレドの“666”ビルディング

ジャレドが、悪名高い、5 番通り 666 番地の“ビルディング 666”を購入したことさえ、多くの疑惑の種となった。（666 はまた、改称されるまで、この建物の実際の名前だった。）彼がその頃の記録破りの 18 億ドル（3 x 6）を払ったことも、陰謀の World Wide Web を通じて、陰謀論者の恐怖を抑えることに役立たなかった。ついでながら、ジャレドは今 36 歳であり、トランプの就任式前にそれを超えたばかりだ。

「“クシュナー大統領”は、“獣の印”チップが開発されている 666 ビルを所有している」
<http://cosmicconvergence.org/?p=19035>



しかし、それは最近の人々の注意を捉えるような種類の陰謀ではない。問題は、一つの不動産取引がある中国人との間で成立し、それが、このような（法外に高価な）不動産の売却から若いジャレドに大儲けをさせることになったことである。いったいどうして、そんなことが起こったのだろうか？ しかも彼の義父の選出の直後に？

「ジャレド・クシュナーの“666”ビルが、どうしてこれほど速やかに、潜在的4億ドルの利益を生み出したのか？」 <http://stateofthenation2012.com/?p=71422>

この話の全体——“クシュナー・クーデタ”だけでなく、狂気じみたトランプ物語全体——は、日ごとにますます不気味になっていく。これに直面しよう。ロシア国営テレビが、「トランプ大統領は北朝鮮のキム・ジョンウンよりはるかに危険だ」と言うとき、事態は非常に面白くなりつつあると知るべきだ！

「ロシア国営テレビいわく、トランプはキム・ジョンウンより危険だ」
<http://themillenniumreport.com/2017/04/russian-state-tv-says-trump-is-more-dangerous-than-kim-jong-un/>

ジャレドとイヴァンカ、メガとモニカ

ジャレド・クシュナーと、イスラエルのトップ・ギャングたちとのすき間が、ごくわずかであるという事実は、不安の種である。この状況が特に切実になったのは、クシュナーが、外国人や彼らの利益との接触に関する、彼の国家安全保障アンケート用紙に、要求された情報を全く書かなかったことが明らかにされた後のことで、それは、彼の安全保障上の資料閲覧資格を、議会が取り上げる要求をするという事態にまで至った。

この抜き書きは、上に言及した「調査報告」からのものだが、もう一度読んでいただく十分

の価値がある。それは、過去数十年間、ホワイトハウスで動いていた、ある共通の力学に光を当てるもので、そこでは、ギャングの戦術を含め、イスラエルが、ホワイトハウスを細かく監視することを許す、必要などんなもっともらしい戦略でも使われている。

国連が 1949 年に、イスラエルをあの世界団体に正式に迎え入れて以来、生まれたばかりのイスラエル政府は、自分が、アメリカのおかげで存在していることを知っていた。強力なアメリカのサポートが、パレスチナに対して犯されたあの国際的犯罪を“合法化”しただけでなく、それ以来、米軍はイスラエルの保護を保証してきた。ここから、テルアビブが、ホワイトハウスの住人を永久にコントロールする切実な必要が、彼らの最優先課題になった。

トランプは彼の基本政策について、180 度の転換を行ったが、それが彼の義理の息子の西ウイングでの彗星のような台頭とともに起こったために、これらの厳しい現実に取り組みねばならなくなった。すべては、イスラエル秘密情報部が、クシュナーを内部エージェントに用いて運営する、高度に調整された、ゆすり、および/または賄賂作戦に集中している。それはドナルド・トランプの義理の息子を、米大統領を効果的にコントロールするように計画された黒い作戦の、中心に置くことになる。もちろん娘のイヴァンカは、この家庭内問題の中心的役割を果たすことになり、それが今、数多くの問題として表に現れつつある。

キーポイント：ビル・クリントン大統領は、パートタイムの、モサドのエージェントであったモニカ・ルウィンスキーに刺されたとき、色仕掛けゆすり作戦を経験した。彼女の父は、長期のイスラエル情報部の契約者だった。クリントンが、テルアビブから発せられた、ホワイトハウスの **Mega** というイスラエルのもぐらの追及をやめよという命令を拒否したとき、モニカ・ルウィンスキー事件が「ドラッジ・リポート」にリークされた。しかし“モニカ・ルウィンスキー・セックス・スキャンダル”の本当の理由は、クリントンがイスラエルに対し、西岸地域の占領をやめさせようと圧力をかけたのを、逆にやめさせることだった。明らかに誰かが、ビルに、米大統領はイスラエルに決して命令してはならないことを、言い忘れたのだった。

<http://stateofthenation2012.com/?p=71476>

結論

確実に言えることは、イスラエルは常に、ホワイトハウスを、特にそれがアメリカの中東（特にパレスチナ）に対する対外政策である場合には、コントロールする決意をしていることである。

しかしトランプ政府の場合には、この危機的な時期にあって、アメリカの国内政策をも完全

にコントロールする切実な必要があった。国際的なギャング銀行家たちが、きわめて深刻な困難に陥っていて、米大統領による“間違っただけ”の動きが、ウォール街のある一瞬に、彼らのカードの家全体を崩壊させかねないからである。

“リトル・イスラエル”の本拠地であるニューヨーク市は、(新しいバビロンの) **帝国州 (エンパイア・ステート)** としても知られるニューヨーク州の、本当の首都である。この帝国や時代がどんなときも、それは常に民衆を支配する両替屋である。これは大英帝国でも、ローマ帝国、古代ギリシャ、バビロニア帝国や、さまざまなエジプト王朝でも、同じだった。そのような遠い昔の両替屋は誰であったか、お分かりだろうか？ (銀行家ギャング、両替屋、それに徴税人たちは、何千年も昔から、おそらく現在の鉄器時代の始まりから、常に同じ種族的銀行業者から出ている。)

現行のシオニスト・アングロ・アメリカン帝国も変わりはない。ただ、今日のグローバル経済・金融システムの不換通貨は、いかなる担保ももたない。このようなどうしようもない、持ちこたえられない苦境は、過去になかった破産手続きによって、このシステムの解体を必要ならしめた。これが本質的に、銀行家ギャングが **The Donald** を選んだ理由である——彼はよく知られた、経験ある破産芸術家である。「トランプ：NWO 陰謀団の核選択——アメリカ有限会社の破産宣告」 <http://stateofthenation2012.com/?p=37500>

編集者注：

時の権力は常に、大統領政治のアメリカ偽コインの両面をコントロールする。彼らは、もし **New World Order** の軍事部門を全面的にコントロールし続けようと思えば、そうするしかない。(「USA: New World Order の軍事部門」 <http://stateofthenation2012.com/?p=6115>)
これがまさに、トランプが最近、アメリカを NATO の戦争売りつけから救い出すと言った約束を、ひっくり返した (返さざるを得なかった) 理由である。いかなる米大統領も、米合衆国と北大西洋テロリスト機構 (NATO) の間の戦争協約を、危険にさらすことは許されないだろう。

著者ノート：“

ありそうもなかったドナルド・トランプの選出によって、世界は、かつてなかった、おそらく**地上最大のショー**と思われるものを目撃したばかりである。しかし **The Donald** が、きたるべき“歴史上最クレージーなリアリティ番組”の主演を演じるかどうかは、時間がたたないとわからない。このきたるべきイスラエル - アメリカ共同作品のタイトルが、「**トランプゲドン**」となるか、「**トランポカリプス**」となるかは、まだ決まっていない。したがって、

時の権力がこのショーを、非常に悲しい結末で終わらせる前に、現在の場面でカーテンを降ろさせるか否かは、今、“われわれ人民”の努力いかんにかかっている。(参照：「トランプゲドン：アメリカのシリアへのミサイル攻撃の背後の、本当の裏話」

<http://stateofthenation2012.com/?p=70849>)

——以上